

木寺瑞穂（きでら・みづほ）
桐生スミカ（きりゅう・すみか）
國崎壽恵子（くにさき・すえこ）
酒井信子（さかい・のぶこ）
高津勲子（たかつ・いさこ）
高吉シズエ（たかよし・しずえ）
只松民子（ただまつ・たみこ）
只松美智子（ただまつ・みちこ）
田鍋君代（たなべ・きみよ）
松尾眞須子（まつお・ますこ）
吉村幸代（よしむら・さちよ）

久山町地域交流型シェアオフィスそらや にて

インタビュー — 3







恩送りのような営み

― いつも、「そらや」にみなさん集まってらっしゃるんですか？

😊 このことを地域を越えて、いろんな人に知ってもらいた
いという意向が町にあるんですよね。というのもあって、
友達に声をかけて集まって・・・。

― 婦人会ではないんですよね？

😊 もう20、30年前に終わったみたいね。わたしがここに来て
28年やけん。その前に終わったみたい。

😊 婦人会は結婚したらもうすぐ入りなさいっていうような、ねえ。

そらや

「そらや」とは、猪野地区にある「地域交流型シェアオフィスそらや」のことです。2019年、久山町が古民家を改修して開設しました。この家は、かつて組合の寄り合いにも使われていた場所、懐かしむ声も聞かれます。現在は、多様な業種の事業者が集うシェアオフィスとして活用される一方で、地域の人々が利用できる交流の場としても貸し出されています。この日は、かつて婦人会や地域活動を共にしてきたみなさんが集まりました。人が集い、語り合う場所としての役割は、形を変えながら今も受け継がれています。

😊 年寄りが、もう入れた。

😊 わたし、役員していて、そのときに婦人会がなくなっただけですよ。もう入り手がいなくなっただけ。支部がどんどんなくなっていくって、もうやめたが良いんじゃないかって。歴代の会長らが集まって、みんなで話し合った結果で、じゃあもう久山町の婦人会なくなるよということだったんですけど、当時の町長が佐伯勝重さんだったの。あの人がね、「一人残ってでも婦人会はやめたらいかん」って言われたんですよ。ここはまだ結構多かったんですけど、辞める人が多かったもんで、なくなりましたね。

😊 今ではね、本当にね、みんな体を悪くしてる人なんです。整体に行ってる人、注射を打ちに行ってる人、みんなそうなんですけど、こうやってここに笑顔で集まります。だから

婦人会

「婦人会」の始まりは1927年にさかのぼります。主に既婚の女性たちによって組織され、戦時中は国策への協力を求められていましたが、戦後は、社会教育団体として再出発し、地区、町、郡、県、全国へとつながる組織の一員として活動していました。講演会や研修会、料理教室、福祉活動、環境美化など、暮らしや地域を支えるさまざまな取り組みが各地区の婦人会を中心に続けられました。時代とともに役割や生活様式が変化し、加入者も減少したことから、久山町婦人会は2005年3月にその役目を終えました。それでも、そこで育まれた仲間とのつながりや、困ったときに声をかけ合う関係は今も続いています。

それが一番元気のもとですよ。杖をついてでも集まる。だってそれが今一番の幸せなんですよ。

😊 「サロン」もあるからね。婦人会がなくなってもいろいろとやってきましたよね。

😊 さくら祭りがあつたらみんなで応援する、見守りがあつたら全員で参加する、何かあつたらみんなで応援する、花壇の花植えもしますよって言われたら、「はい！」って言うて……。みんなそれこそよく頑張りましたね。

😊 頑張りました。

😊 町のイベントには呼ばれたらすぐ行く。あのう、いろんなことを全部できる人たちばかりで……。まあ、できな

サロン

「サロン」とは、「ふれあい・いきいきサロン」のことで、高齢者の閉じこもり防止や介護予防などを目的に1990年代から全国に広がった活動です。地域の身近な場所に住民が集まり、参加する人と運営をする人が一緒になってつくる交流の場です。高齢者や子育て中の親子、障がいのある方など、地域にに応じてさまざまな人を対象としたサロンがあります。久山町では、各地区の活動団体を中心に、体操や食事、季節の催しなどを楽しむ場が運営されており、互いの顔を見て近況を知り、気にかけて合う機会にもなっています。町内では現在10団体が活動しており、久山町社会福祉協議会が活動を支援しています。運営に

くてもね、リーダーが言うたらせなあかんとです。デイクエアとか、ふれあいスクールとかで、歌を歌ったり、演芸をしたり、みんなから重宝されて。

😊 病院にボランティアで行ったり・・・。

😊 クリスマスやお楽しみ会でね・・・。

😊 戦争が起ったら募金活動して・・・。

😊 大きな地震があったら豚汁つくって・・・。

😊 わたしたちも良いことされてるから入ろうや言うてから、みんなでこうずっと続けてきたと。でも、その下が今いないですよ。もうちょっと下の人が続けて一緒にしても

は、久山町の赤い羽根共同募金で集まった寄付金が活用されています。

さくら祭りがあつたらみんな
で応援する

猪野地区で毎年3月末に開催されている「ひさやま猪野さくら祭り」は、2013年に始まりました。会場の準備や案内、出店、駐車場整理、来場者へのおもてなしなど、祭りの裏舞台では、猪野地区住民をはじめ、多くの住民が力を合わせています。そこには、多くの役場職員の姿もあります。祭りがあるなら応援しようと声をかけ合い、できる人ができることを引き受ける。そうした一人ひとりの力が集まり、祭りは続け

😊
もう多分
26年。



婦人会という苦勞と自由

😊 婦人会は、川掃除とかね、何かなさってたんでしょ？

😊 毎月、川掃除ね。それと、護国神社参りやら・・・組
合当番でね、そしてそれに行くのはね、楽しみでね。昔
は、結婚したらお姑さんと住んどっじゃない。そしたら、
月に一回の夕方の例会に行くのも楽しみ。そして、護国
神社参りも毎月じゃないけど楽しみ。当番でグループで
行くじゃないですか。そしたら向こうで食事するのが楽
しい。外に出て行くのをね、やっぱり言えんわけですよ。

😊 気を使わんといかんから。



😊 お姑さんに婦人会がありますって言ったら外に出て行きやすいわけですよ。わたしなんかもう心配してね、いつ言おうか、いつ言おうかって。もう何日前に言わないかんじゃない。ただ朝昼晩ご飯の用意をしてるのをせんでいいじゃない。ちょっとだけやね。

😊 解放される。

😊 そういう時代だもん。お姑さんにすごい気を遣った。

😊😊😊😊😊 わははははっ！

😊 もう実家に帰るのもやっぱり心配しちゃうよね。

😊 年に2回しか帰られんやった、実家。

毎月、川掃除ね。

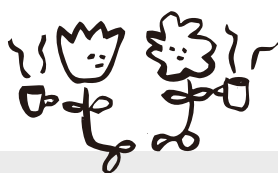
それと、護国神社参りやら：

戦後の婦人会では、川掃除や護国神社への参拝をはじめ、定例会議や講演会、研修会、料理教室など、一年を通してさまざまな活動が行われていました。地域をきれいにすることも、暮らしについて学ぶことも、人と顔を合わせて語り合うことも、すべてが婦人会の日常でした。戦時中の婦人会は、出征軍人を見送り、戦死者を迎える役割も担っていました。福岡県護国神社には、明治維新以降の福岡県出身の戦没者がまつられており、戦後しばらくは、婦人会行事として毎年参拝が行われていました。

😊 自分がそんな経験したけん、嫁にはもう行きたい時は
行っていよいよって感じで……。

😊 時代やったけんね。

😊 それとね、「お十七夜」っていうのがありました。月に
一回ね、自分たちでご飯食べといて、それから7時半
から8時ぐらいによその家に集まって、おしゃべりして、
お茶をいただいて……。それが息抜きでしたね。



お十七夜

お十七夜は、毎月17日の観音菩薩の縁日
に行われる「観音講」と呼ばれる信仰行
事です。江戸時代以降、全国各地で主に
女性の信者によって受け継がれ、観音堂
や当番の家に人々が集まり、観音様を拝
み、供え物をして祈りをささげる行事と
して親しまれてきました。久山町でも、催
し方は地区や組合によって異なりまし
たが、毎月観音堂や当番の家に集まり、観
音様の像や掛け軸をまつり、赤飯や煮豆、
菓子などを供えてお参りしていました。

お葬式も地域ごと

「そのようなご経験をされてきたからこそ、こうやって集まることに自由を感じるみたいなお気持ちがありますか？」

☺ 今のわたしたちにはものすごい良いことです。おしゃべりして、何気ない話でも、認知症予防にもなる。

☺ 懐かしいねと思うよ。婦人会があったなと思ってね。いろんな行事があったね。

☺ 行事っていうことで言えばね、組合の中で誰かが亡くなったたら、みんなが集まって、お葬式のお手伝い。前の

お参りの後には、供え物を皆でいただきながら、お茶や漬物を囲んで語り合いました。子どもたちが描いたちょうちんに火を灯したり、踊りを披露したり、参拝者を茶菓子でもてなした地区もありました。次第に婦人会の情報交換や集金なども行われるようになり、婦人会の常会として定着していったそうです。

組合の中で誰かが亡くなったたら、みんなが集まって、お葬式のお手伝い

そう遠くない昔、組合の中で誰かが亡くなると、組合の人たちが集まり、日取りや役割分担を決めながら、葬儀の準備から見送りまでを担っていました。女性た

日から準備しながら、仕出しも全部作って、来られた人たちにお出ししてっていうのをやっていましたよ。

😊 男の人は、男の人の役割があったんです。旗作ったりね。

😊 すごかったんですよ。

😊 リヤカーに乗せてね、村の人が送るんですよ。

😊 市内から来た人がね、わあ素敵やねって。

😊 映画みたいだった。

😊 組合はガッチリで、もう本当にそれをしないと、やっぱりその人は仲間になれないって感じで……。みんなで

ちは料理や弔問客を迎える準備をし、男性たちは葬列で使う旗や灯籠などを整えました。葬儀に必要な道具も組合や行政区で保有しており、地域全体で故人を送り出していました。



旗作って、写真持ったり、お骨持ったりして、みんなで送る。鳥居の中を通したらいかんって言って横を通って行ったというのもありましたよね。

☺
それが平成15年頃まであった。

☺
それまではやっぱり地域でした。





懐かしい未来のような話

😊 昔はね、ここでもお店がいっぱいあったの。

😊 魚屋さんも購買店も・・・。

😊 それから、あそこのバス停が終点だったんです。それで、もともとは車掌さんも乗ってあったんですよね。

😊 それが楽しかった。もうわーわー言ってるね。

😊 若いかったいい車掌さんが乗るでしょ。

😊 しゃべりながら帰ってくる。



😊 運転手さんも、バス停じゃないところでも「乗せてー！」って言うたら乗せてやりんしゃった。

😊 それはよっぽど昔の話。

😊 ちょっとの昔よ。

😊 映画を見て帰るでしょ？その時もう眠たいでしょ？そしてたらかしてくれよって。

😊 昔はね、炭をね、作ってて。それを箱崎の方に売りに行ってたけど、牛とか馬とかでずっと馬車引いて行って、帰りは酒飲んでもう寝てしまったら、牛やら馬が勝手に連れて帰ってくる。そういう話があったよって聞きよったんですけど、それぐらいのんびりした感じで・・・。



😊 それで、まだ昔はね、猪野の川がきれいでしょ。今もきれいけど、昔はね、もう水浴びじゃないけど、お年寄りがお風呂みたいにしよんしゃった。

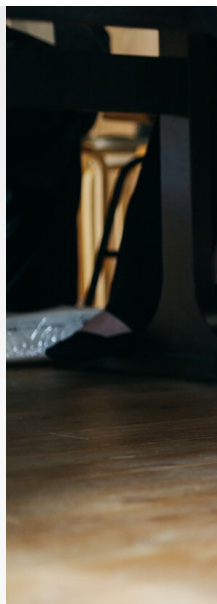
😊 今はダムができたでしょ？ だから川にあんまり水流さ
れんから、もう。

迎え入れ合うこと

😊 わたし、北九州で育って、来るのも遅かったんですよ。
来た時は婦人会もなくなってる、ですから、みなさんと
あんまりお会いする機会がなくて、たまたまお稽古で一

ダム

久山町には、久原ダムと猪野ダムの二つのダムがあります。久原ダムは福岡市、猪野ダムは福岡県が管理し、いずれも福岡市の水道を支える水源として利用されています。久原ダムは1970年、猪野ダムは1998年に完成しました。猪野ダムでは、水を溜める前に完成した堤体や湖底が一般公開される「湖底フェスティバル」が催され、多くの町民が見学に訪れたそうです。久山町の水道水は、



緒になった人たちに誘っていただいて、ここに入れていただいてるから・・・。ちょっと昔のことはあんまりよく詳しくはわからないんですけど、このまとまりの良さはね、羨ましいと思ってますし、よくしていただいてます。居心地が悪ければ抜けたでしょうけども・・・。ありがとうございます。

😊 わたしも、やはり友達が一番に欲しかったからですね。仲良くしていただいて・・・。でも、ここはちよつと便利が悪いなと思って。

😊😊😊😊😊😊😊 わはははは。

😊 それ言い出したらキリがないから、あるのを感謝しながら、バスに合わせて買い物したり・・・。

ダム以外の町内の水源を活用した全量自己水源によって維持しており、砂の層にすむ微生物の働きを生かして水を浄化する緩速ろ過方式を採用しています。町では、水源となる森林や河川の保全に取り組みながら、この豊かな水源環境を未来へと引き継いでいきます。



😊 わたしは80まで働きました。同級生がいろんなところでボランティアをしていて、その彼女が体操があるよとかって誘ってくれたことに、ものすごい、いまだに感謝してます。だからお友達がこんなにすごくて、市内の友達から羨ましがられます。だって忙しいもん。昨日も映画に行ってきたんですよ。何時のバスで行く？どうする？っていう、もうその行くまでの話し合いも毎日楽しいじゃないですか。本当に感謝してます。

！ 逆に不安なことってありますか？

😊 若者が地元におれるように、ねえ、いろんな面でねえ、考えないかんなくて・・・。

😊 母屋も空いてそのままだったりして、あの、その先祖のね、



お墓を守っていくのがどうなるんだろうっていうのが
ちよつとありますね。

😊 あのうち、主人もだいぶね、年取りましたし、百姓とか畑
が大好きな人でね、もう体がね、今まで元気やったんで
すけど、少しやっぱりね、衰えてきましたから・・・。
田植えがもう始まるんですけど、ちよつと心配です。昔
はやっぱり、だいぶ作ってたんですよ。でも、もう年を
取りましたから、次の代の人に渡してね。今、次の若い
人が頑張ってくれてますので・・・。

！ 田畑の担い手はみつかっていますか？

😊 はい。なんとかつないでいってくれるといいんですけど。



😊 うちもね、田んぼがあるんですよ。けどしないから。

新しく家を建てた人、もう全然、なんか名字がこっちの人じゃないとよね。あいさつに来られたんですよ。「作らせてください」っていうんでね、田んぼ作ってくれてるんですよ。ありがたい。もう、せんやったら荒れるじゃないですか。だけんね、ありがたい。若い人よ。

😊 あなたは、どう？全員しゃべらんと。

😊 みなさんがものすごくやり手ばかりで、ついていくのが精一杯なんですけれども、まあちょこちょこでもついていっております。

😊 あなたがおらんと困る。

うちもね、田んぼがある

久山町では、自分では耕作していても、家に田んぼがあるという人は少なくありません。農地は所有しているだけでは維持できず、耕す人がいなければ、やがて草木が生い茂り、田んぼや畑として使うことが難しくなります。これまでは、代々、実家の土地として守り継がれてきましたが、管理には手間も費用もかかります。生業として継承することは容易ではなく、農家も年々減少しています。近年は、家のつながりを超えて、農地を託す人と耕したい人が出会い、農地が受け継がれていく新たな形も見られるようになりました。

😊 みなさんの苦労はわかってますし、母からもそのようなことはいろいろ聞かされておりましたけど、わたしはもう甘えてばかりで、今もなんか一番末っ子みたいです。年齢は上です。年齢だけはみなさんよりとってますけど、これからもよろしくお願いします。

😊 わたしはここで生まれて、そのあと外に30年ぐらい出たかな。で、また帰ろうって言って。主人も黙ってついてきてくれたんです。ありがたかったです。うん、それだけです。

！ やっぱ戻ってきたくなるものですか？

😊 なんかねえ、住みやすいのよねえ。



😊 やっぱりこっちに来て、ちょっとお友達がいなかったんですね。そしたら呼んでもらって、仲間に入れてもらって、もう今に続いて。本当に、その仲間のお友達にすぐ恵まれました。それこそね、婦人会からも30数年一緒にいつも引っ張ってもらって、もう楽しいです。ありがとうございます。

😊 何かしようやって言ったら、いやって言わないんですよ。やってみよう、やってみよう、しようよって言うので、一步も二歩も前進できた。だからいろんなことを経験してきました。彼女のおかげです。

😊 「盆踊りだから着物着て行こう」って言ったら、みんな「暑いけん、いやね」とか言っても、ちゃんと着ていくんですよ。



😊

もうみんなね、たんすから引っぱり出して浴衣着てくるんですよ。もうそれは見事です。わたしね、話をするのが申し訳ないんですけど、ここに来てからね、大人のいじめがもう何年て続いたんですよ。もう泣いてましたね。ところがやっぱり、お友達ができる、役員さんにさせられる、いろんなことしながら、町のいろんな人との関わりが生まれてお話をする心が晴れる。で、今もそれが続いています。あの、いじめられてばかりじゃなくて、ある程度したら吹っ切れましたよ。だから後から来た人は大切にしようという気持ちはいつも持っていました。

😊

彼女は、何でもできて、何でも全部相談されるんですよ。

😊

いやいや、でも、そんな時代があって、今がありますからね。今はもう本当にもう、バラ色の人生です。本当に



もう、仲間がね、素晴らしい。この仲間ってというのはね、今を大切にすることだと思うんですね。それこそ、ここまで出てくるだけで素晴らしいと思うし、だから来たら、わーわー言うでしょ、みんな笑顔で。それで、よっちらよっちら帰っていきますよ。それが嬉しいと思うし、いろんな行事があるっていうことが幸せですね。

ー 最後に自分からコメントをいいですか？

😊 久しぶりの若者。

😊😊😊😊😊😊😊 わははははは！

ー なんか、仲間意識っていうのがすごくあるなっていうのがある。自分も地元の友達がいっぱいいて、そういう













写真提供..花いっぱい活動

